

行事の見直し・・・内容を厳選し、質を向上！

質を向上させ最高の感動を生み出す

- ・小中連携運動会は交流活動としては成果があったものの、中学生の出場機会の減少につながり、取組意欲の低下を招いた。
- ・練習場所や時間の確保が困難であった。
- ・練習時間調整や情報共有等に係り、教師の負担が増加した。



運動会は小中合同開催をやめ単独開催の「体育祭」に変更、合唱祭は練習時間の削減を図り、行事の質の向上を目指した。

【効果】

- 実態に合わない種目を削るなどした。選定により生徒たちの意欲が向上した。
- 短期集中練習により子供たちの意欲が向上し、行事自体も質的に向上した。
- 業務削減による教師の負担は大幅に軽減した。



体育祭の様子



合唱祭の様子

実施までのプロセス

- ①子供たちの意欲を向上させる体育祭、合唱祭にするために、行事の持ち方について協議し、単独開催とした。
- ②体育祭は種目・開催時間の検討を行い、半日開催とし、種目はねずみ算りレー、全員リレー、大縄跳び、紅白対抗リレーとした。
- ③合唱祭は事前放課後練習の短期集中化した。
- ④行事準備にかかる時間を減少させつつ、集中して取り組むことで生徒たちの充実感・達成感を育んだ。

内容縮小による効果

- ・体育祭は個人の出場できる種目数が増加（合同開催のときは1、2種目だったが、単独開催としたことで1人最低3種目以上に増加）
- ・合唱祭の練習時間は2/3に短縮